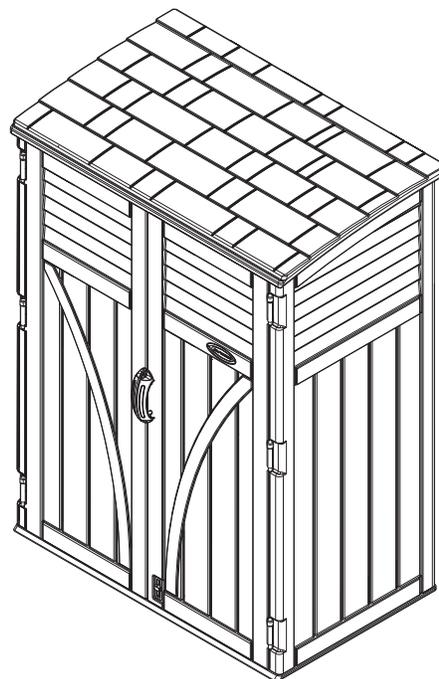
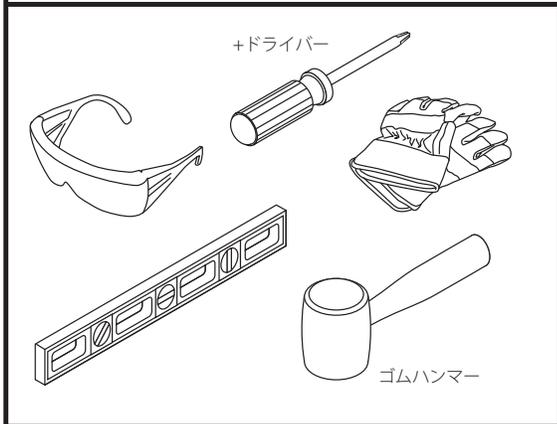




BMS5700 ツールキャビネット 【ワイド】 取扱説明書

※組立前に必ず本説明書をお読みください。
※組立前に必ずパーツを確認してください。

必要な工具



設置前に・・・

- **法規に従って設置してください。**
設置に関して、許可が必要な場合もしくは許可が必要が不明な場合は担当の自治体へお問い合わせください。
- **設置は1階のみ、風雪などの影響を考慮した場所に設置してください。**
2階以上の屋外、ベランダ、屋上設置不可。強風にさらされる場所、豪雪地域への設置はご遠慮ください。
- **設置場所は水平レベルを出して地盤のしっかりした場所に設置してください。**
設置場所基礎の情報は「基礎について」を参照してください。組立前に基礎工事を完了させてください。
- **設置前に必ず取扱い説明書を最後までお読みください。**
間違った手順で組むと製品の破損、事故の原因となります場合があります。
- **説明書の指示に従ってください。**
取扱い説明書の指示に従わずに組立をすると破損、事故の原因となります。また、改造は行わないでください。
- **組立前にパーツを確認してください。**
組立前にパーツリストにてパーツを確認し、パーツ不足、不良が判明した場合は組立を行わないようにしてください。
- **組立は十分な人数を確保してください。**
説明書文中に右アイコンがある場合は2人以上で作業してください。

組立後も本説明書を必ず保管してください。

【輸入元】有限会社TOSHO
〒509-5401 岐阜県土岐市駄知町1217-5
TEL:0572-55-1400 FAX:0572-55-1406



注意

- 1階のみに設置してください。(2階以上、ベランダ、屋上設置不可) しっかりとした基礎の上に設置してください。
- 物置は過酷な気象状況に対応していません。
- 化学薬品、可燃性物を保管できません。
- 一箇所に重量が集中する物は床や壁が変形する恐れがあります。
- 子供が利用する事はできません。
- 絶対に屋根の上に上らないでください。
- パーツの破損時はすぐに修理もしくはパーツ交換をしてください。
- SUNCAST社は誤った使用、不正な改造、自然災害に対する損害に対して責任がありません。
- 定期的に物置の建付を確認してください。
- 定期的に基礎の水平レベルを確認してください。
- このキットは金属端パーツを含みます。扱うときは注意してください。(グローブ着用)
- 風が強く吹く環境で使用する場合は必ず基礎とアンカーで固定して下さい。

物置内の安全とメンテナンス

- 可燃用品は必ず燃料を抜いて保管してください。古い、ストーブ、グリル、トーチランプは保管しないでください。
- 電化製品、化学薬品、可燃物、生き物は収納できません。
- 重い荷物を壁に立てかけないでください。パネルの歪みを引き起こす可能性があります。
- 屋根の上の雪や葉を取り除いてください。
- 20cm以上積雪がある場合は屋根部の雪落としをしてください。
- 物置の屋根、壁部は細かいテクスチャを含みます。時間とともにその部分にチリがたまりコケが発生する場合があります。物置の性能を維持する為、年に一度やわらかいブラシ等を使用して中性洗剤と水で清掃してください。硬いブラシは使用しないでください。また、シンナー系、アンモニア系の化学薬品などを使用しないでください。

組立時の注意

- 組立前に取扱説明書をよくお読みになり、パーツの数量、パーツ不良の有無を必ず確認してください。
- 組立前に基礎など設置場所の整備し用意して下さい。
- インパクトドライバーは使用しないでください。
- パーツを組み立てる前に基礎を完成させてください。
- 風の強い日に組立しないでください。危険です。
- 気温が32度以上または氷点下での組立は行わないでください。破損や事故の原因となります。
- 組立には十分な時間を確保してください。
- パーツ持ち上げ時の補助も含めて余裕のある人数で作業してください。
- グローブをはめて、組立に適した服装で作業してください。
- 内部作業時、暗くなる場合がありますので、ハンディライトなどの使用を推奨します。
- 細かいパーツが余分に入っている場合があります。使用しない場合も保管してください。
- プラスチックパーツを地面に置く場合は傷がつかないように保護して作業してください。
- 火気の近くに設置しないでください。
- 強風にさらされる場所へは設置しないでください。
- 改造はしないでください。

基礎について

組立キットには基礎の材料は含まれていません。

注: この物置を設置するには基礎が必要です。しっかりとした水平の基礎の上に物置を設置してください。基礎を設置しないと歪みの原因となり、立て付けが悪くなる場合があります。また、物置本来の強度が保てない場合や最悪破損する恐れがあります。

注: 組立前に必ず基礎を施工してください。

基礎の準備をしてください。

1)設置場所の法規に従って基礎を作成してください。基礎について不安な点がありましたら、業者等へご相談ください。SUNCAST社は基礎施工の斡旋は行っていません。

2)地中の配線、パイプ等に注意して基礎を作成してください。

3)基礎の作成方法:

コンクリート基礎(推奨)

10cm以上の厚さで施工してください。水平に施工してください。水はけ等に注意してください。

木枠基礎

設計図を参考に木枠の基礎を作成してください。基礎に使用する木は防腐処理が施された物を使用してください。必ず水平に木枠基礎を設置してください。図は例です。収納物に合わせて木枠を増やし補強してください。最低でも一年に一度基礎の水平状態、腐食状態などをご確認ください。

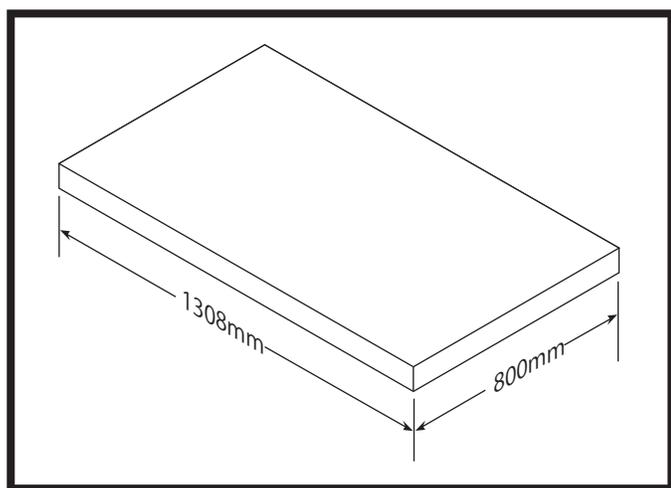
4)基礎について:

- 基礎面は平らで水平にしてください。
- 基礎面は他の面より高くして水がたまらないようにしてください。

5)アンカーについて:

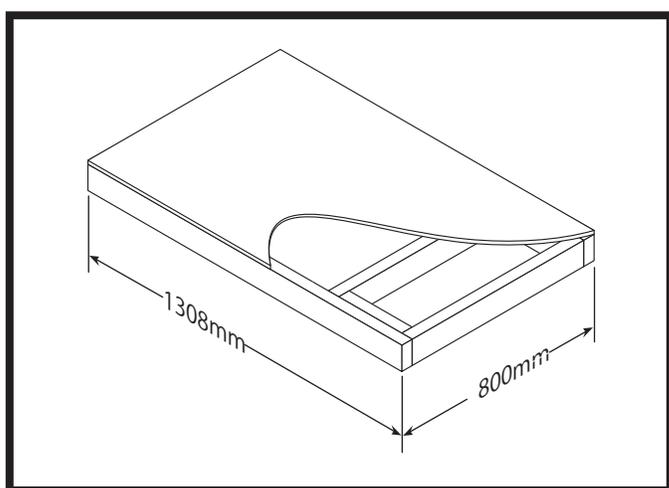
- フロアには1枚につき25mmのアンカーポイントが4箇所あります。(フロアパネルの4隅くぼんだ部分)
- 基礎に合わせて別途アンカーを用意して施工してください。キットにはアンカーは含まれていません。

コンクリート基礎



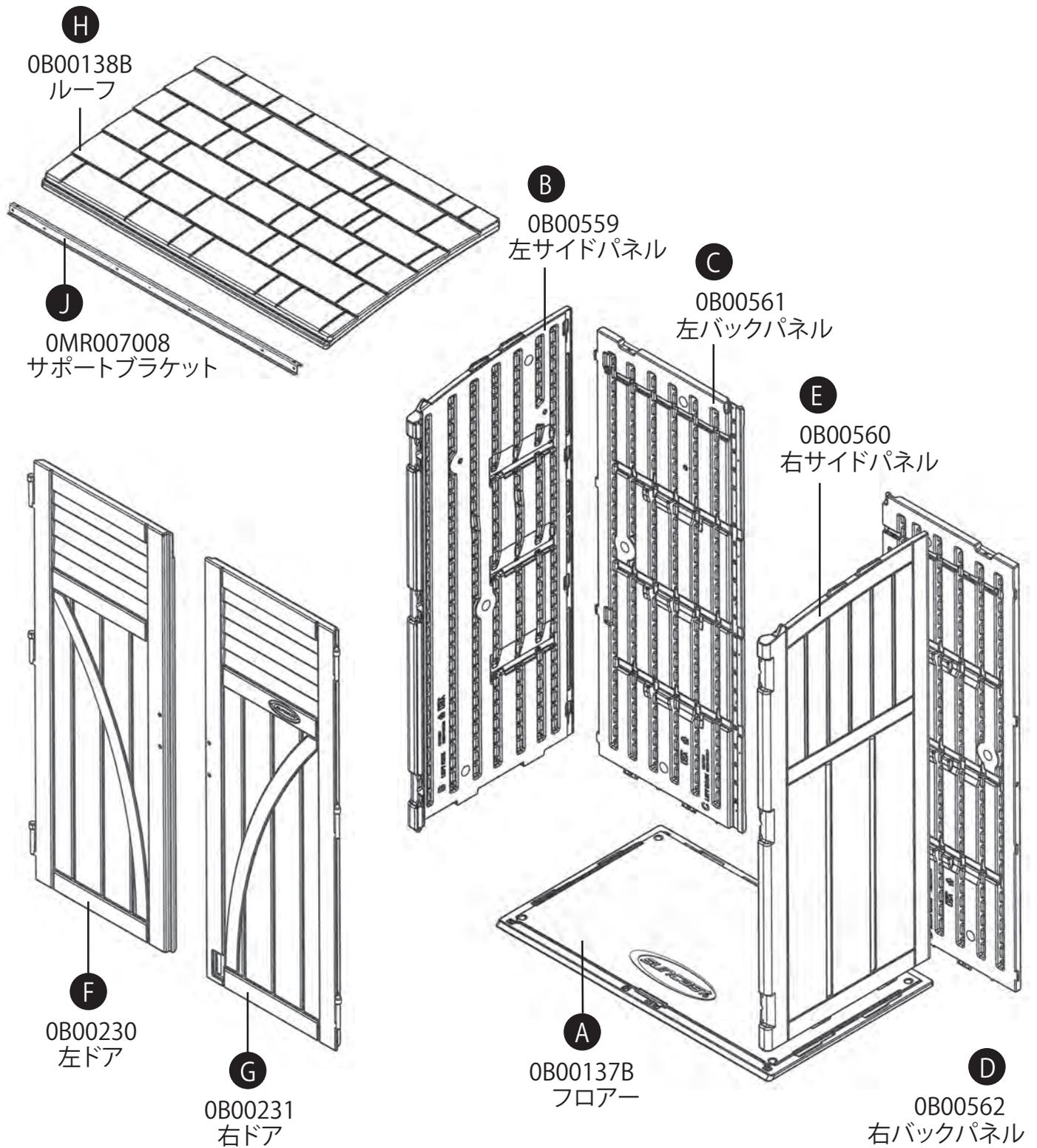
• 推奨基礎。

木枠基礎(例)



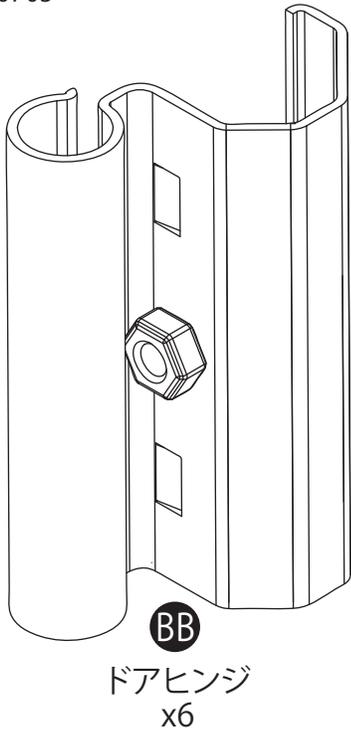
• 木枠の上には防腐処理されたパネル(コンパネ等)を一面取り付けてください。

BMS5700 パーツリスト①

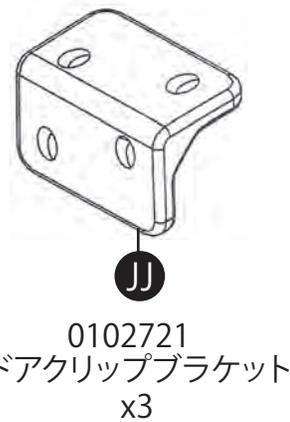
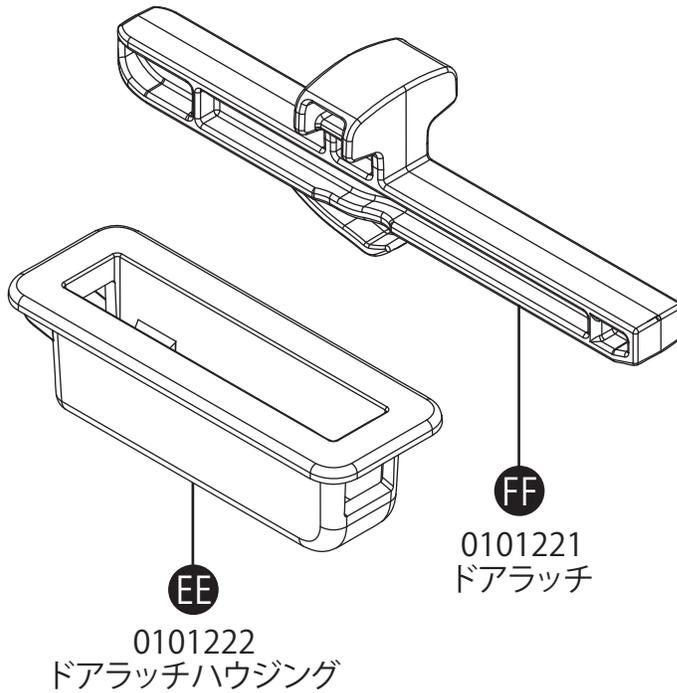
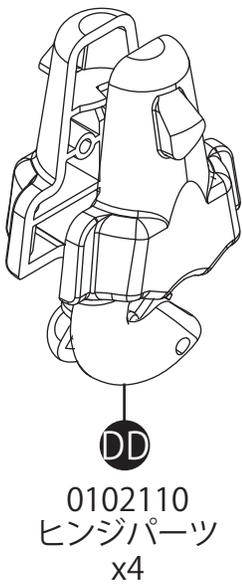
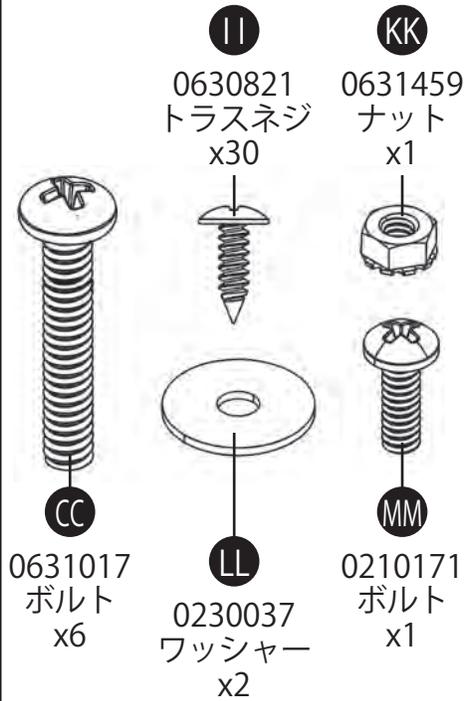


BMS5700 パーツリスト②

0440705



0480496

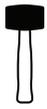


ネジ類は余分に入っている場合があります。

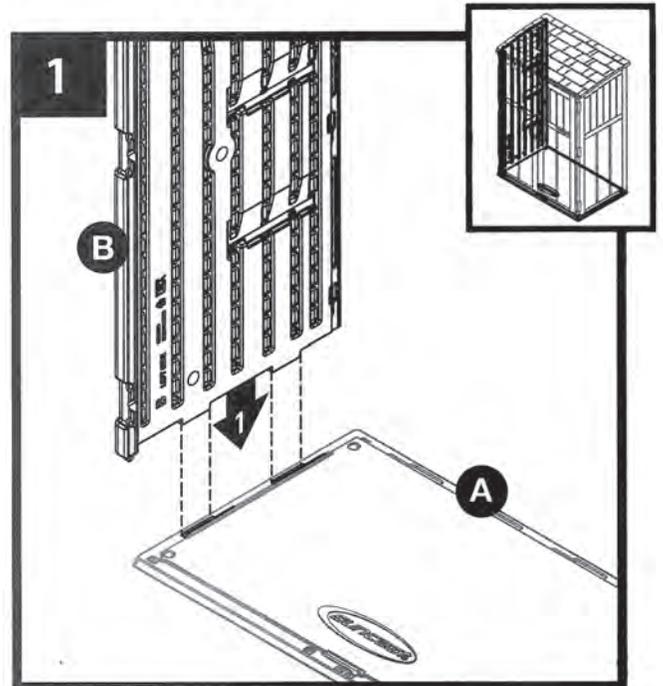
壁の組立



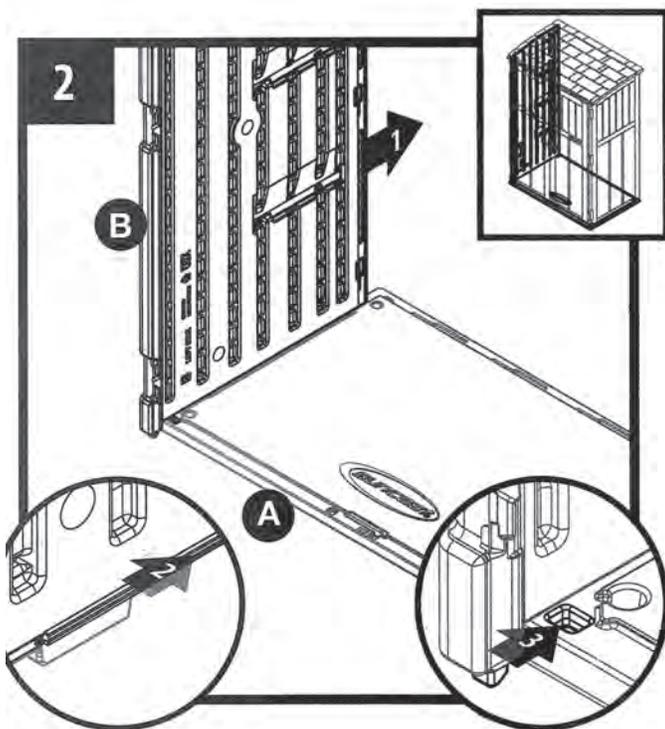
説明書中に左アイコンがある場合は必ず2人以上で行ってください。その他の場合も余裕を持った人数で行ってください。



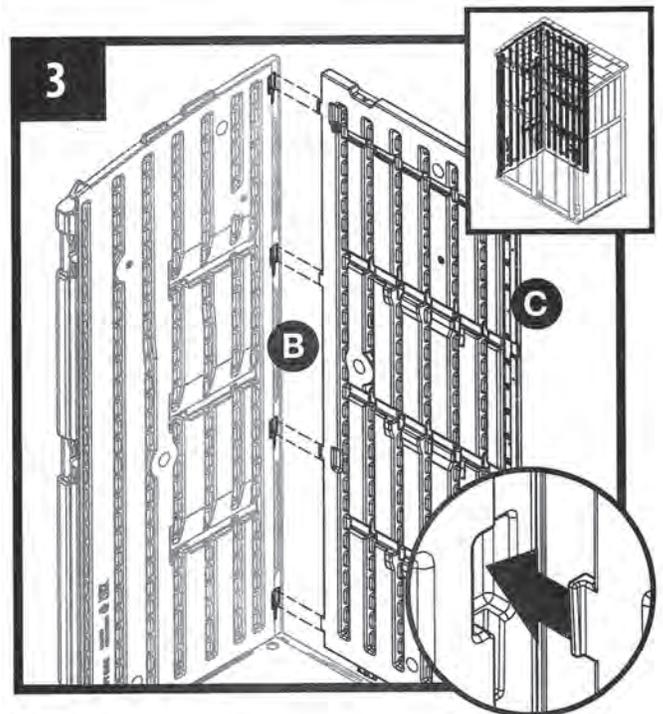
説明書中に左アイコンがある場合はゴムハンマーを利用します。ゴムハンマーは強く叩きすぎると物置が破損する恐れがあります。注意して取扱ってください。



フローア(A)のSUNCASTロゴ面を上にし配置します。左サイドパネル(B)を図のに溝に差し込みます。

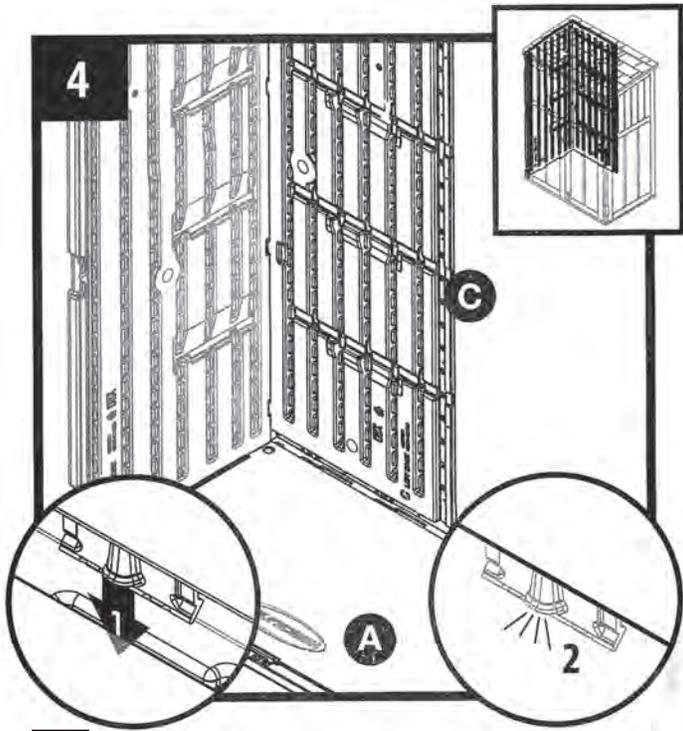


差し込んだ左サイドパネル (B)を矢印2の方向にずらす様にスライドさせ、図の様に矢印3の位置でロックされるまで押し込みます。必要に応じてゴムハンマーを利用してください。

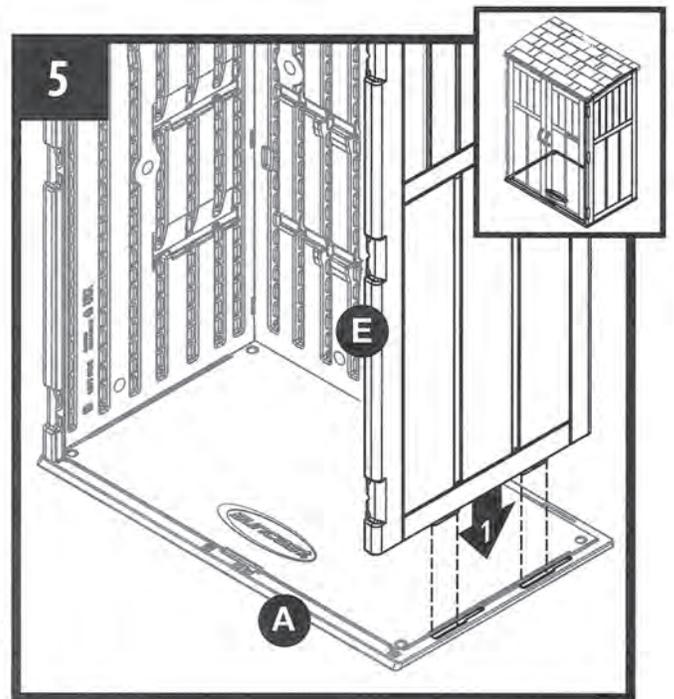


図を参考に左バックパネル(C)を左サイドパネル(B)の溝に差し込みます。

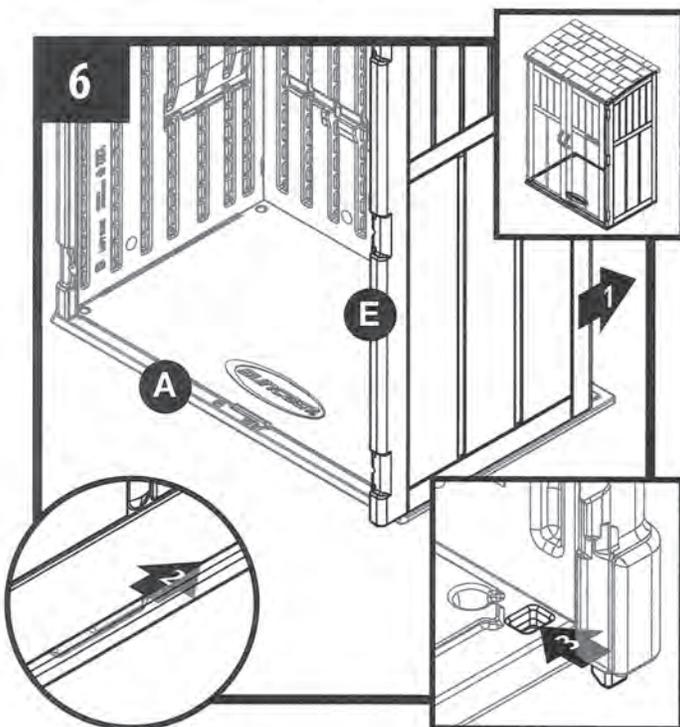
壁の組立



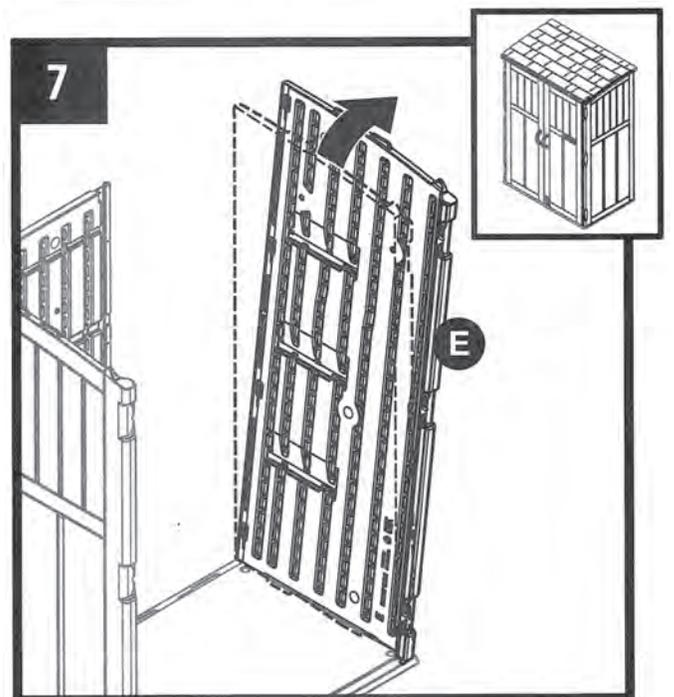
左バックパネル(C)をフローア(A)にシッカリ差し込みます。



右サイドパネル(E)を図の様に溝に差し込みます。

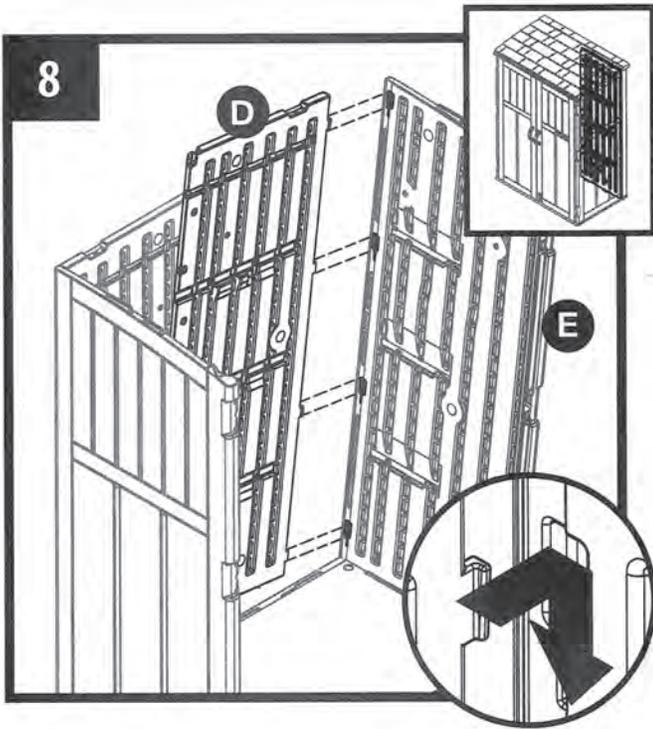


差し込んだ右サイドパネル (E)を矢印2の方向にずらす様にスライドさせ、図の様に矢印3の位置でロックされるまで押し込みます。必要に応じてゴムハンマーを利用してください。

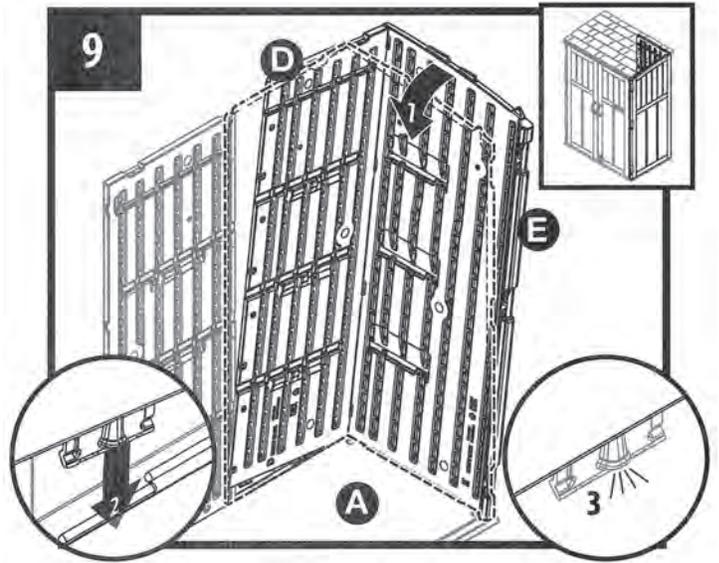


図を参考に右サイドパネル (E)を外側に少し傾けます。

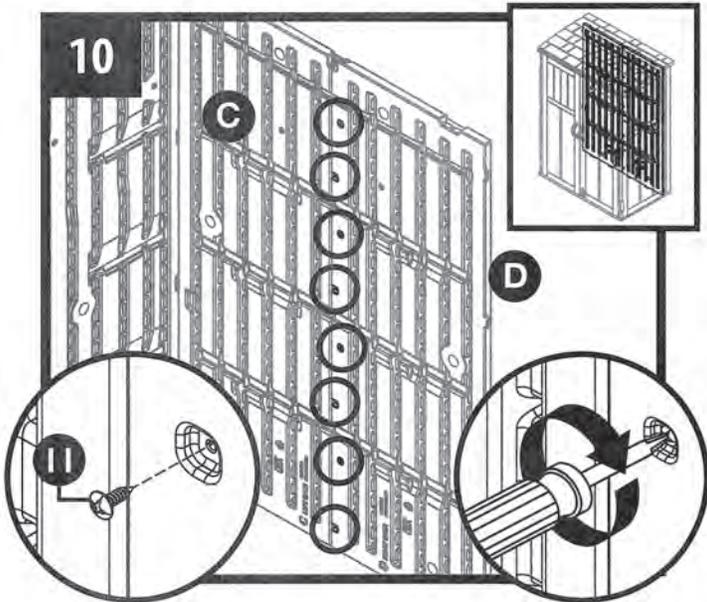
壁の組立



 図を参考に右バックパネル(D)を右サイドパネル(E)の溝に差し込みます。

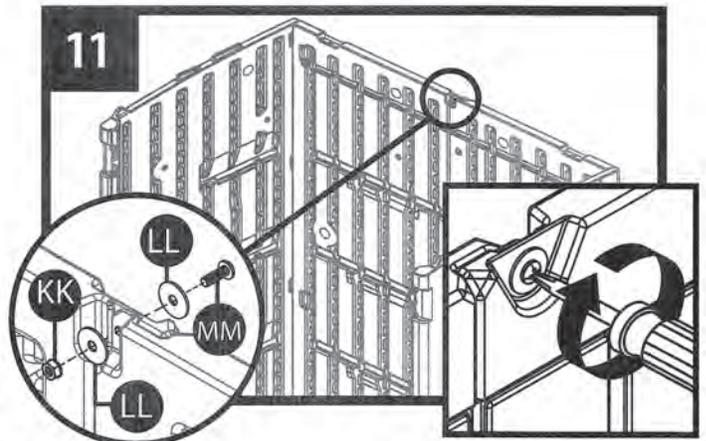


 傾けていた右バックパネル(D)と右サイドパネル(E)を図の様に起こしフロアー(A)にしっかり差し込みます。



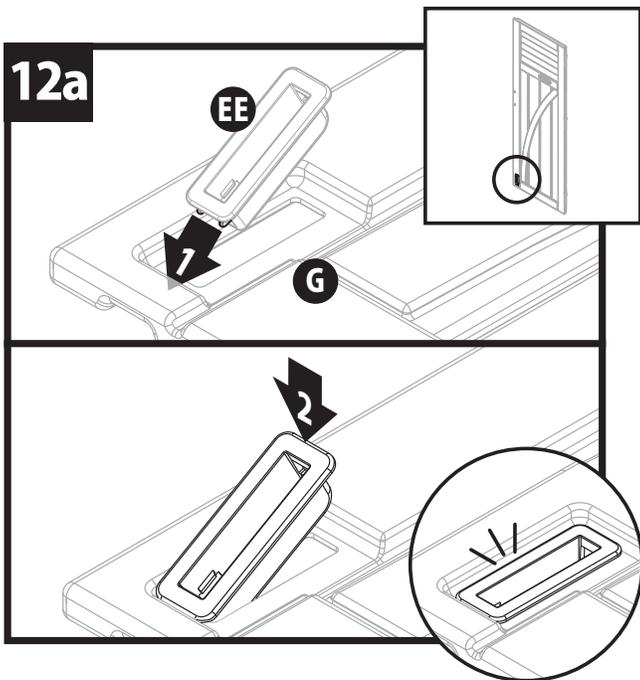
各パネルが正しく取付けられているか確認し、左右バックパネル(C)(D)を図の様にトラスネジ(II)で8ヶ所固定します。

注：ネジが止まらない時は各パネルの位置を再確認してください。ネジの回し過ぎに注意してください。

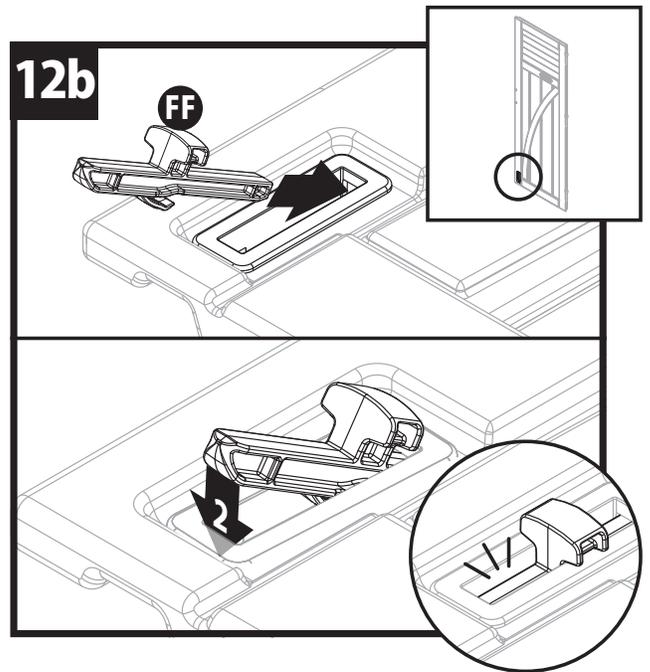


図を参考に外側から左右バックパネル上部のボルト穴にボルト(MM)とワッシャー(LL)を差し込みます。内側よりワッシャー(LL)とナット(KK)を使い固定します。

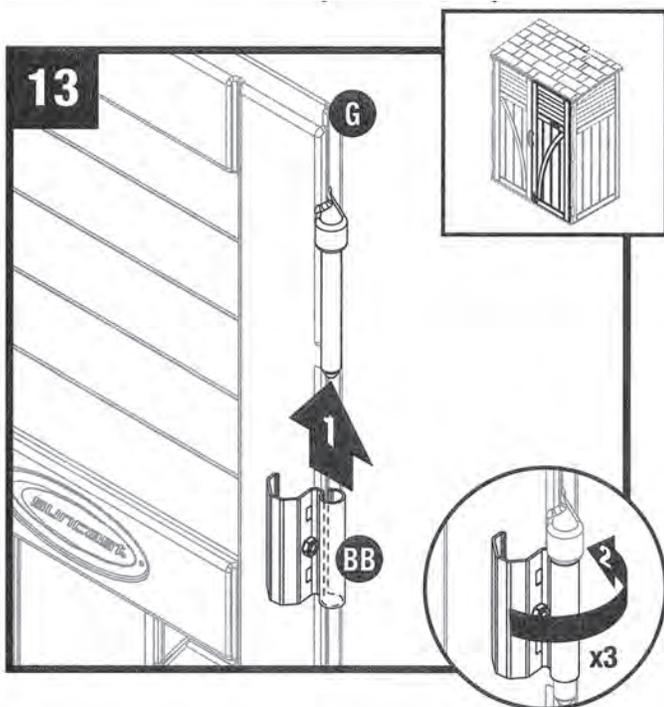
ドア、ルーフの組立



図を参考に右ドア(G)にドアラッチハウジング(E E)を挿入します。正しく挿入されるとパチンと音が出ます。

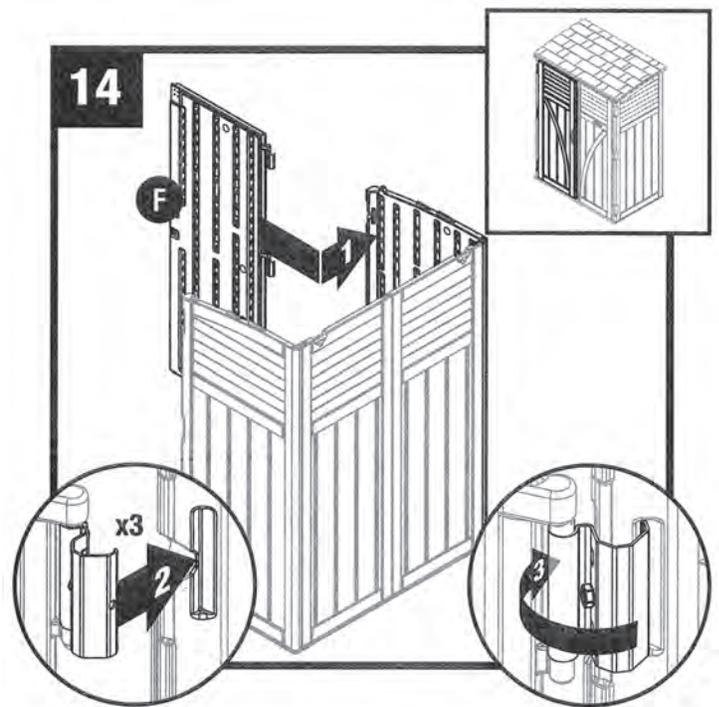


続けて図を参考にドアラッチ(FF)をドアラッチハウジングに挿入します。正しく挿入されるとパチンと音が出ます。



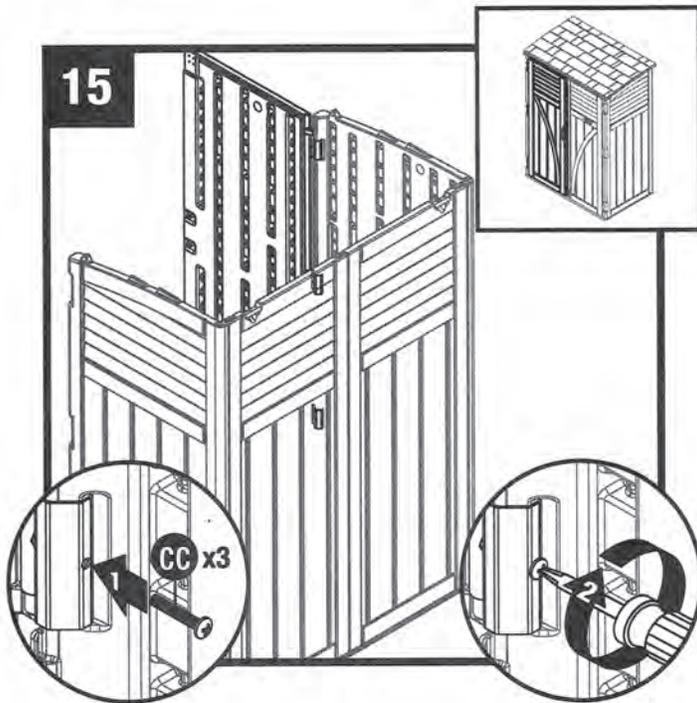
図のように右ドア(G)にドアヒンジ(BB)を差込み矢印2のように回します。1枚のドアにつきヒンジを3個取り付けます。

同様に左ドア(F)にも取り付けます。



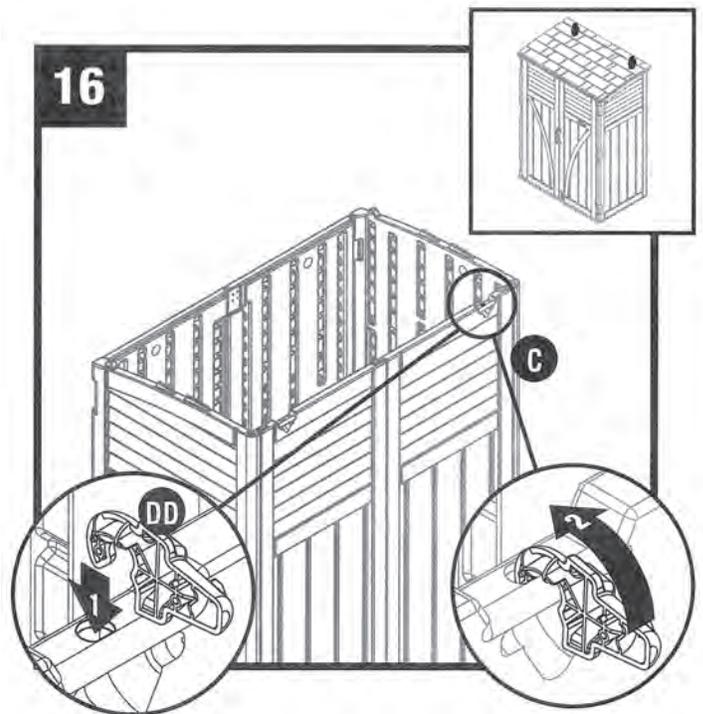
図のようにドアをサイドパネルに取り付けます。矢印2のようにサイドパネル内側の溝にヒンジを合わせ矢印3のように回しながらはめ込みます。

ドアの組立

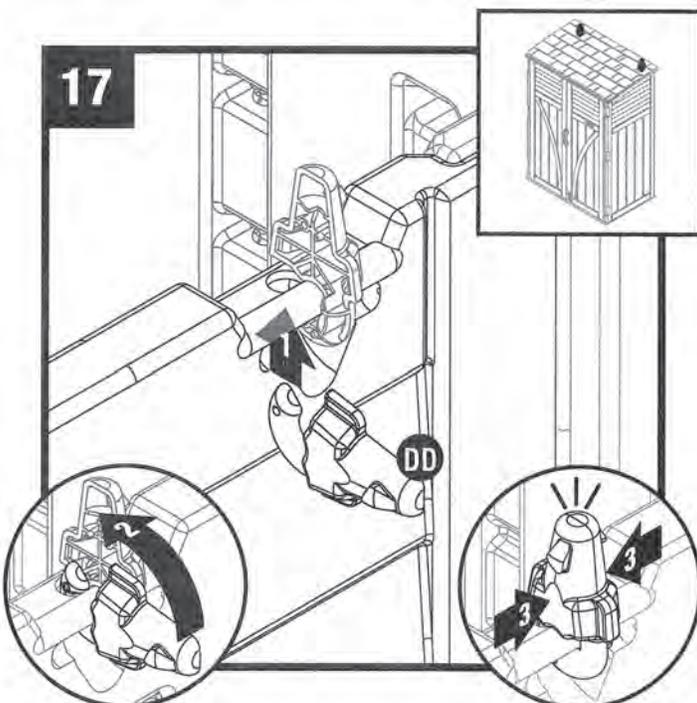


ヒンジボルト(CC)を利用して上下のヒンジとパネルを固定します。
同様に13-15の手順でもう片方のドアを取付けます。

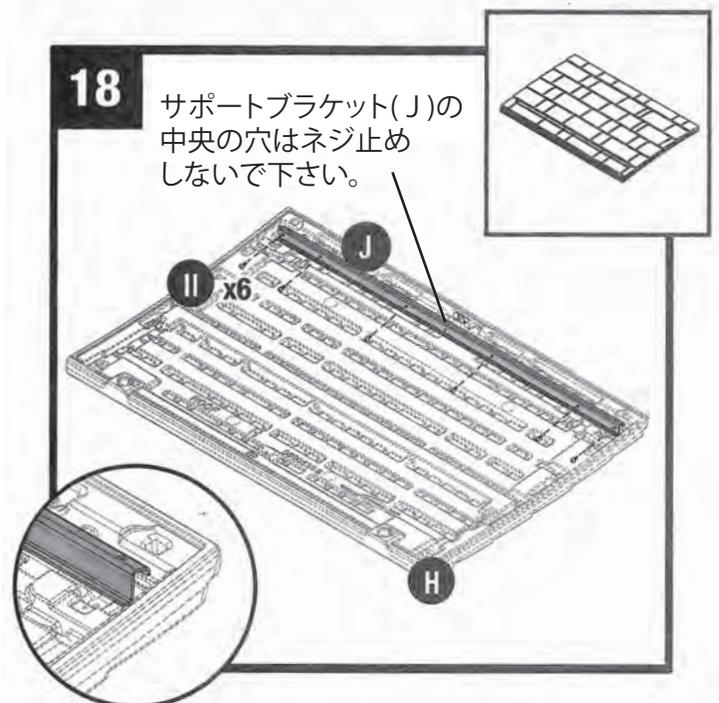
ルーフの組立



図を参考にバックパネル(C)に天板ヒンジパーツ(DD)を取付けます。



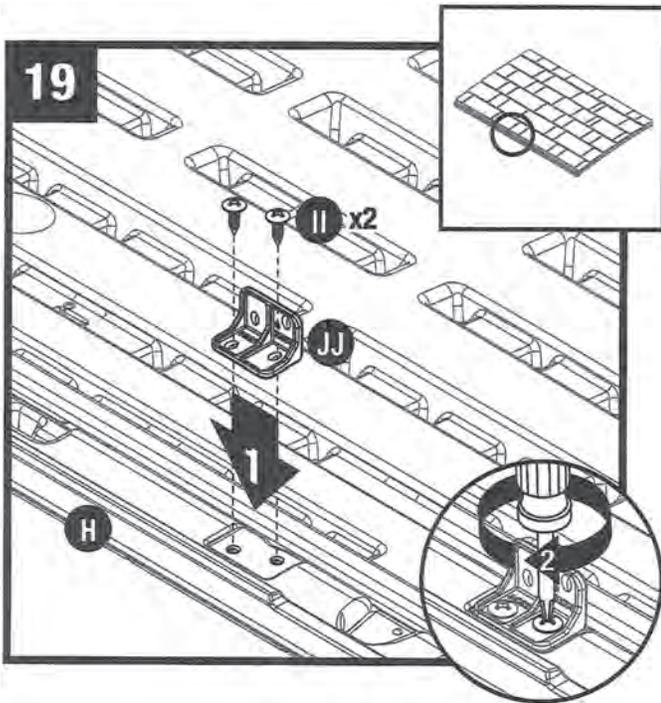
図を参考にバックパネル(C)にもう一つ天板ヒンジパーツ(DD)を取付け合わせ一つのパーツにします。天板ヒンジパーツ同士が正しく合わさるとパチンと音がします。もう片方も16-17の手順で取付けます。



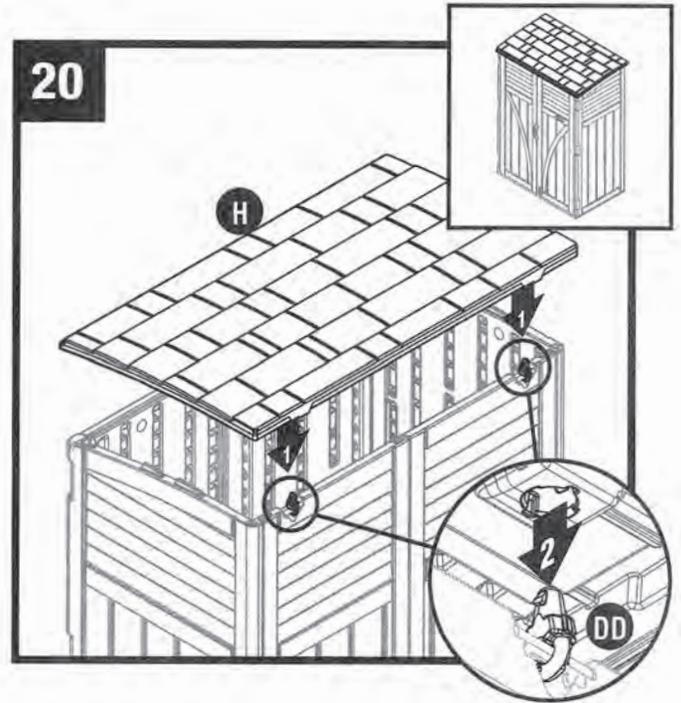
サポートブラケット(J)の中央の穴はネジ止めしないで下さい。

図を参考にネジ(II)を6本使用して、ルーフ(H)にサポートブラケット(J)を取付けます。

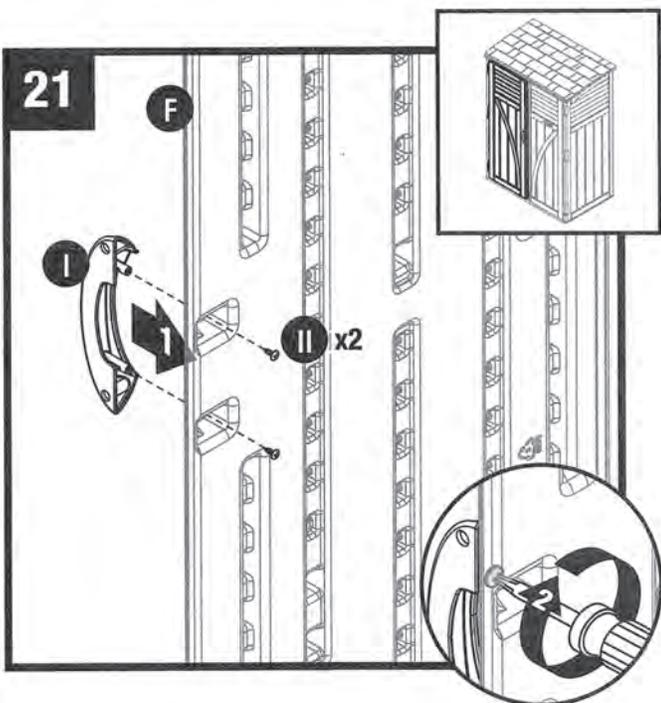
ルーフの組立



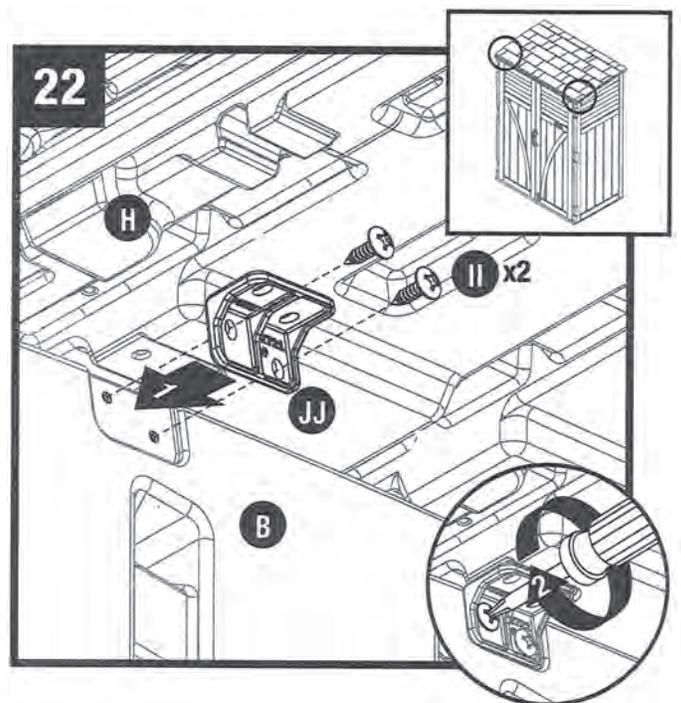
トラスネジ(II)を利用して、ルーフ(H)にドアクリップ
ブラケット(JJ)を取り付けます。



図のようにルーフ(H)の穴と天板ヒンジパーツの位置
を合わせて押し込み接続します。
注：必要に応じて脚立を利用して下さい。高所での
作業は注意して行ってください。

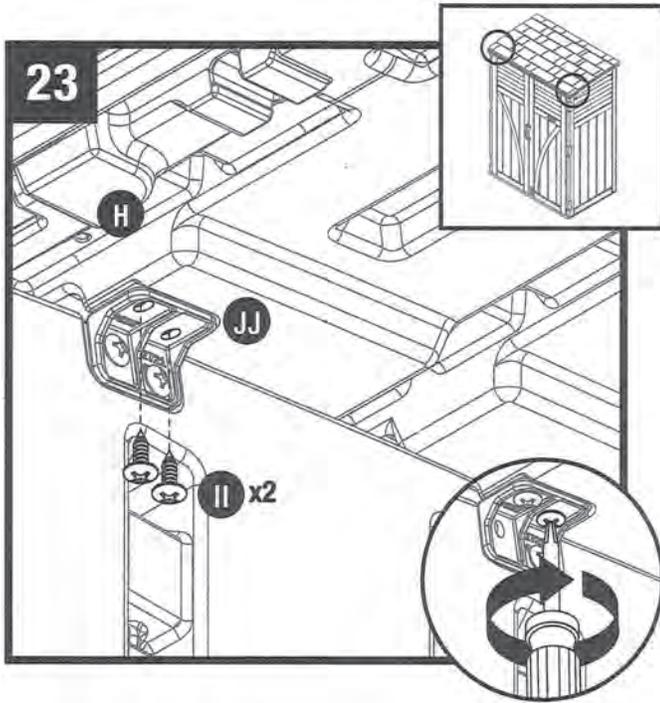


トラスネジ(II)を利用して、左ドア(F)にハンドル(I)
を取り付けます。
右ドア(G)も同様にハンドルを取り付けます。

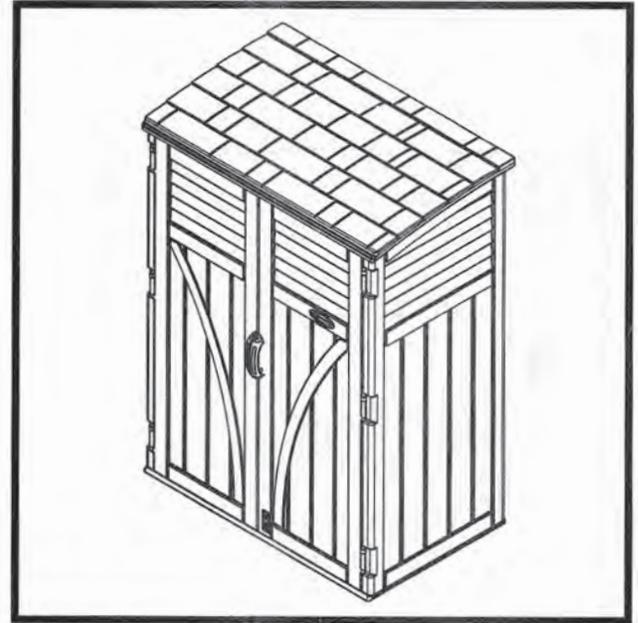


トラスネジ(II)を利用して、左サイドパネル(B)と
ドアクリップブラケット(JJ)を接続します。

ルーフの組立



トラスネジ(II)を利用して、ルーフパネル(H)とドアクリップブラケット(JJ)を接続します。右側も22-23の手順で同様に接続します。



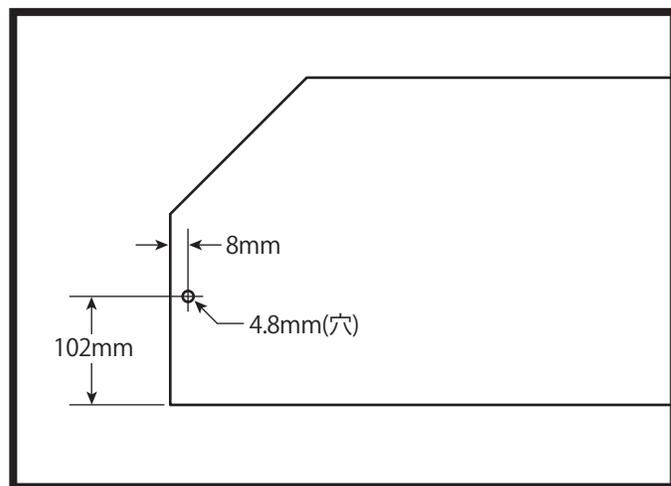
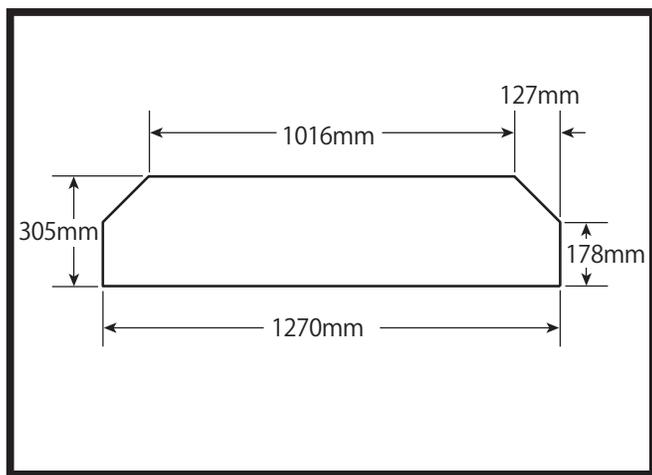
完成。

本製品に棚板は付属しません。棚板の作成方法は次ページを参照して下さい。

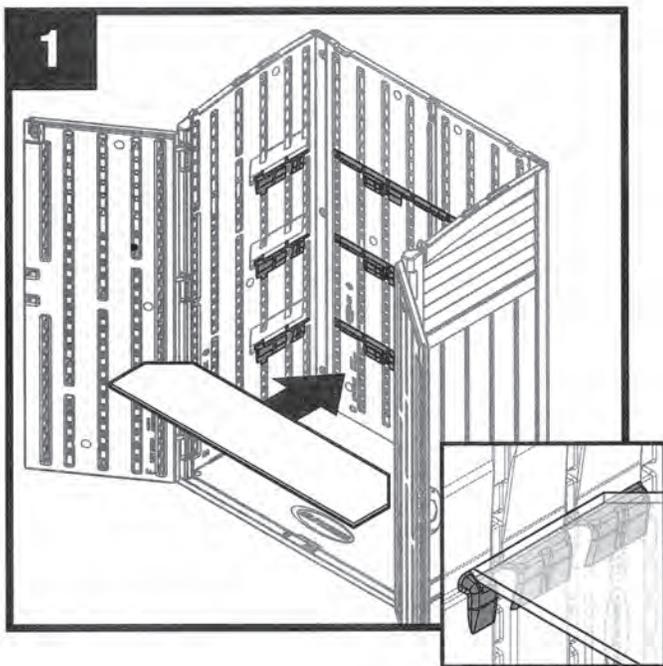
棚板テンプレート・取付

本製品に棚板は付属していません。

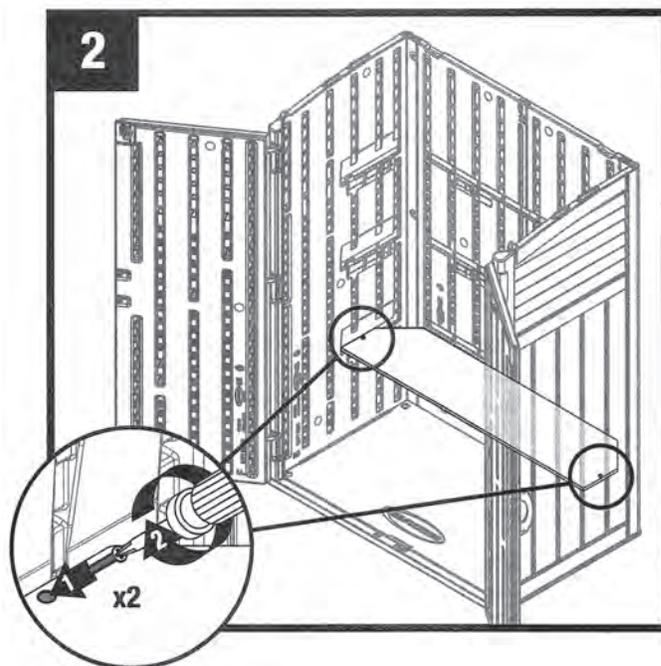
棚板テンプレート



- SUNCASTベースキャビネットは収納用途に合わせて棚板を1段追加する事が可能です。
- 棚板は20mmの厚さのパネル（コンパネ等）を利用します。
- テンプレートに合わせてカット、穴あけして、ビスで固定して下さい。



図の位置に棚板を置きます。
棚板は最大3枚設置可能です。



左右2箇所にてネジなどを利用して固定して下さい。
取付ネジは付属しません。別途ご用意下さい。